

創立141周年



学校だより

は え

南風の子

中種子町立
南界小学校

平成26年10月9日(木)発行

行事の取組のなかで、育てたいこと

校長 岡留 祐宏

9月28日の合同大運動会は、晴天の下、盛会のうちに終了することができました。保護者、地域の皆様のご協力に感謝いたします。運動会は、かねての学習の総力が求められる行事です。「しっかり考え、きびきび行動すること」も「力を合わせて協力すること」も「最後まであきらめずにやり抜く」姿が、各種目の競技においても、係の仕事や応援する姿の中にも感じることができ、とても嬉しく思いました。

運動会が終わり、息つく間もなく、町民体育祭、陸上記録会の練習に取り組んでいます。また、11月上旬にある町音楽祭や校内学習発表会の練習も始まりました。体育・文化行事が目白押しですが、練習や本番を通して、「自分の力を伸ばすとき」という気持ちを持って、体を鍛えるだけでなく、ねばり強さや工夫し協力する心を磨く機会として取り組んでほしいと、子どもたちに話しました。

次々と行事に取り組むなかでも、決して日々の生活リズムを崩さず、授業中の取組や家庭学習も疎かにならないようにさせたいと思います。慌ただしさや疲れを感じることもありますが、それぞれの家庭でもご協力をお願いいたします。



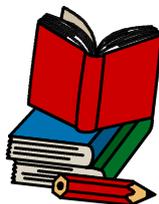
町体練習(玉入れ)

全国学力調査結果について

本年4月に全国の6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校は、国語Bは全国・県平均を上回り、国語A、算数A・Bは全国平均を下回るという結果でした。(※Aは基本的な知識・理解を問う問題、Bは活用能力を問う問題です)

また、同時に行った学習状況調査を見ると、本校の子どもたちの「テレビ等の視聴やゲームをする時間」が全国平均以上であること、「宿題はきちんとしている」が8割以上である一方で、「授業の復習はあまりしていない」が7割あることから、家庭学習のねらいや内容が十分理解されていないことがうかがえます。さらに、国語や算数のB問題では、「解答の時間が足りなかった」と答えた子どもも見られ、問題を読み解き、処理する時間のスピードもさらに高める必要も感じました。

こうした現状をもとに、授業や家庭学習の在り方を見直し、今後の学力向上に努めていきたいと思ひます。



各種コンクールの入賞

夏休み明けにあった各種の作品コンクールで、本校の子どもたちが大きな成果をあげてました。(次面に詳細掲載)

理科の自由研究では昨年に続き、町審査会で推奨10点、特選4点、入選9点となり、推奨作品10点は地区審査会に進み、特選9点、入選1点となりました。地区特選となった9作品は県の審査会に進みました。

審査の結果、2年生の北野陽基くんの作品は「県知事賞」を受賞し、8点が県入選となりました。夏休み中、丁寧に取り組んだ成果が認められことを嬉しく思いますし、苦勞の多い自由研究に多くの子どもたちが取り組んだことも感心しました。

また、作文コンクールでも3点が特選、3点が入選となり、こちら子どもたちの頑張りがたくさん認められ、さらに嬉しさが広がりました。これからもいろいろな機会を生かして、一人一人の子どもたちの努力が実るよう努めていきたいと思ひます。

登校時の元気なあいさつについて、子どもの自己評価は「とてもよい」ですが、保護者、学校職員から見た評価は、それより低い評価です。「何故だと思う?」と尋ねました。いつでもどこでも状況に応じてあいさつできることを心がけていきたいと思ひます。来校時の様子をご覧ください。

「より良い関係を築くために大切な気持ちや考え方」について学びました。